

鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版

クルッポを使ってまるでゲームのように楽しみながら、お店や人と仲良くなれる体験が増えています。御成通りを少し入ったところにある日本茶セレクトショップ「CHABAKKA TEAPARKS」では、ビールサーバーから直接注ぎ淹れるドラフトティーを飲むことができますが、日替わりのスペシャルドラフトティーを

鎌倉市SDGsつながりポイントは鎌倉市で導入されている、人と人をつなげるコミュニティ通貨です（まちのコイン）というアプリを利用します。コインの単位は「クルッポ」。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人とつながりができた！という体験談などをお伝えします。



楽しい「利きドラフトティー体験」でお店の人や他のお客さんとも仲良くなれる

ゲームのように楽しみながら、人と人がつながる

鎌倉のウクレレソングユニット、小川コータ&とまもんさんも、ライブなどのイベントでご本人にチェックイン！する

誰かに会うとクルッポをもらえる、という体験もあります。電波少年のTプロデューサーこと土屋敏男さんに鎌倉のまちなかで声をかけると、ご本人から200クルッポをもらえます。土屋さんは、鎌倉の昔の写真を集め、鎌倉の「昔」と「今」を楽しむ「鎌倉今昔写真」を運営しており、このサービスに鎌倉の古い写真を投稿することでも、クルッポがもらえますよ。



お店の常連さんからは、この体験を何度もすることでお店の人と仲良くなったことはもちろん、見ている周りのお客さんとお話する機会も増えたり、日々メンバーを当てるために味への感度が高くなり、お茶についても詳しくなっており、お店に来ることがより楽しくなった、との声も。

とクルッポがもらえることがあります。お二人のライブでは、時々クルッポを使った超特別な体験ができることもあるのでお楽しみに。過去には、ライブで歌の歌詞にあなたの名前を入れます、という体験があり、ファンの方へのお誕生日プレゼントとして利用され、会場が涙の渦になったとか。



クルッポをつかったスタンプラリー企画も増えています。まちのあちこちにあるQRコードを読み取ったり、クイズに答えていくとアプリ上でスタンプを集めることができ、まち歩きがひときわ楽しくなりますよ。遊んでいるうちにさまざまなお店や人と仲良くなった、まちを知るができるので、ぜひ「クルッポ」を使って鎌倉のまちを歩いてみてくださいね。

